

---

>>>

# JPA事務局ニュース <No.96> 2013年8月16日

---

>>>

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局  
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610号  
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 [jpa@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:jpa@ia2.itkeeper.ne.jp)  
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

## ☆難病新法にむけての各論の議論が、いよいよ9月から始まります 難病対策委員会の動向に注目しましょう！

前回のニュースから1か月以上も間が空いてしまいました。

気がつけばもう8月中旬です。この間、参議院選挙があり、与党自由民主党の大幅な議席増と、民主党の激減により、国会の政治地図も大きく変わりました。

安倍内閣は改造を行わず、「安定」した国会運営を進めるとしています。

難病対策の見直しはいったいどうなるのか。1月に「提言」を出して以来、音沙汰のなかった難病対策委員会は、9月はじめに再開された後、いよいよ難病新法にむけての各論の議論が始まります。その動向に注目しましょう。

## ☆難病や慢性疾患、障害者に関する報告や検討が続々

一方、この間、社会保障や健康・医療分野で、安倍政権の基本方針ともいえる重要な文書が、次々と発表されています。8月末には、各省の来年度予算にむけての概算要求が発表されます。この間出された主な文書名のみを挙げておきます。

難病対策委員会での議論が始まる前に、私たちも「予習」をしておきましょう。

- 科学技術イノベーション総合戦略(6月7日閣議決定)
  - 規制改革実施計画(6月14日閣議決定)
  - 日本再興戦略-JAPAN is BACK-(6月14日閣議決定)
  - 健康・医療戦略推進本部(本部長:内閣総理大臣)の設置(8月2日閣議決定)
    - 健康・医療戦略推進会議(議長:内閣官房長官、構成員は関連省庁の幹部。厚生労働省は、医政局長、老健局長、医薬食品局長)
    - 「健康・医療戦略」(6月14日、関連大臣申し合わせ)
    - 「新たな医療分野の研究開発体制について-予算の一元化と新独法の業務の制度設計」(8月8日、健康・医療戦略推進本部発表)
    - 「医療分野の研究開発関連予算の要求の基本方針」(同)
  - 社会保障制度改革国民会議報告書~確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋~(8月6日、社会保障制度改革国民会議)
- これらの文書は、いずれも首相官邸ホームページで公開されています。

□一般財団法人難病治療研究振興財団「成長戦略を視野に入れた難病対策事業（緊急提言）」（5月30日）

□毎日新聞8月8日付け「発言」「確実に実現可能な難病対策を」坂口力

坂口力元厚相が昨年立ち上げた「一般財団法人難病治療研究振興財団」が、提言「成長戦略を視野に入れた難病対策事業（緊急提言）」を5月30日に発表しています。

毎日新聞8月8日付けには、坂口氏の「発言」が掲載されています。

「緊急提言」は、安倍政権の成長戦略を視野に入れた難病対策について、1月に難病対策委員会がまとめた「提言」の問題点として、「計量的な分析に乏しく、治療研究という難病対策の根本的な部分の具体的な提言には具体性がない」として、医療費助成の対象疾患をはじめ、各論についても具体的な提言を行っています。

最近まで国会議員として活躍され、元厚相経験者である坂口氏が理事長を務める財団が、難病対策の各論の議論が始まる前に出した提言だけに、この「緊急提言」には注目しておく必要があります。

□次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方について（案）（8月9日、第66回社会保障審議会医療保険部会）

来年の診療報酬改定にむけての議論も進められており、次期改定にむけての基本的な考え方（案）が公表されました。

こちらは厚生労働省ホームページに掲載されています。

□障害者基本計画（案）（8月9日、第7回障害者政策委員会で議論）

第3次障害者基本計画（2013年～2017年）の原案が、第6回、第7回の2回の障害者政策委員会で議論された意見をふまえて決定されます。（現時点では未定）

□障害者の地域生活の推進に関する検討会

社会保障審議会（第50回）障害者部会で設置された検討会。来年、障害者総合支援法の施行が予定されている「重度訪問介護の対象拡大」「ケアホームとグループホームの一元化等」について10月中を目処に報告書を取りまとめるとしています。8月中に関係団体のヒアリングを行っており、JPAも29日に発言を予定しています。

また、身体障害者手帳や障害年金の認定基準をめぐって、疾患を伴う障害についての見直しのうごきも進められています。

□ペースメーカー等の障害認定の評価に関するワーキンググループ（第2回は8月19日）

□障害年金の認定（肝疾患による障害）に関する専門家会合（第1回は7月30日）

□6月には、高次脳機能障害、眼の障害に関する障害年金認定基準の改定が行われています。

これからの社会保障、医療、介護、年金などの施策がどのようにかわっていくのか、そのなかで難病対策は、障害者対策はどうなるのか。猛暑のなか、熱い思いで「予習」を行い、秋からの運動に備えましょう。

事務局長 水谷幸司

-----\*